

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-本-008-03
提出年月日	2022年8月4日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料

原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備
(真空破壊装置, ダウンカマ, ベント管, ベントヘッド)

(本文)

2022年8月

中国電力株式会社

3. 圧力低減設備その他の安全設備

- (1) 真空破壊装置
- (3) ダウンコマ
- (4) ベント管
- (5) ベントヘッド

3. 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(1) 真空破壊装置の名称、種類、主要寸法、材料、駆動方法、個数及び取付箇所

		変 更 前									変 更 後	
名	称	真空破壊装置									変更なし	
種	類	—	逆止め弁									
主要寸法	口 径	mm	□ *1									
	厚 さ*2	mm	□ (□ *1)									
材	料	—	SGV49									
駆 動 方 法		—	—									
個	数	—	8									
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	AV217-738A (—) *2	AV217-738B (—) *2	AV217-738C (—) *2	AV217-738D (—) *2	AV217-738E (—) *2	AV217-738F (—) *2	AV217-738G (—) *2	AV217-738H (—) *2		
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 1300mm*2									
	溢水防護上の区画番号	—										
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—									

注記*1：公称値を示す。

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(3) ダウンカマの名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

			変 更 前	変 更 後
名 称			ダウンカマ	変更なし
種 類	—		管形	
最 高 使 用 圧 力		MPa	0.427* ¹	変更なし 0.853* ²
最 高 使 用 温 度		℃	171	変更なし 200* ²
主 要 寸 法	内 径	mm	□* ³	変更なし
	厚 さ* ⁴	mm	□* ⁵ (□* ³)	
材 料		—	SGV49	
個 数		—	64	

注記*1: S I 単位に換算したものである。

*2: 重大事故等時における使用時の値

*3: 公称値を示す。

*4: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「板厚」と記載

*5: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-4-5 ベントヘッド及びダウンカマの基本板厚計算書」による。

(4) ベント管の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

			変更前	変更後
名称			ベント管	変更なし
種類	—		圧力抑制型	
最高使用圧力	内圧	MPa	0.427* ¹	変更なし 0.853* ²
	外圧	MPa	0.014* ¹	変更なし
最高使用温度		℃	171* ³	変更なし 200* ²
主要寸法* ⁴	内径	mm	□* ⁵	変更なし
	厚さ* ⁶	mm	□* ⁷ (□* ⁵),	
□* ⁷ (□* ⁵)				
材料		—	SGV49	
個数		—	8	

注：記載の適正化を行う。既工事計画書では原子炉格納容器として記載

注記*1：S I 単位に換算したものである。

*2：重大事故等時における使用時の値

*3：原子炉格納容器の最高使用温度（ドライウェル）を示す。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主要寸法及び個数」と記載

*5：公称値を示す。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「板厚」と記載

*7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-4-2 ベント管の基本板厚計算書」による。

			変更前	変更後
名称			ベント管ベローズ	変更なし
種類	類	—	圧力抑制型	
最高使用圧力	内圧	MPa	0.427 ^{*1}	変更なし 0.853 ^{*2}
	外圧	MPa	0.014 ^{*1}	変更なし
最高使用温度		℃	171 ^{*3}	変更なし 200 ^{*2}
主要寸法 ^{*4}	内径	mm	□ ^{*5}	変更なし
	厚さ ^{*6}	mm	□ (□ ^{*5})	
材料	—	SUS304		
個数	—	8		

注：記載の適正化を行う。既工事計画書では原子炉格納容器として記載

注記*1：S I 単位に換算したものである。

*2：重大事故等時における使用時の値

*3：原子炉格納容器の最高使用温度（ドライウェル）を示す。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主要寸法及び個数」と記載

*5：公称値を示す。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「板厚」と記載

(5) ベントヘッダの名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

		変更前		変更後
名称		ベントヘッダ		変更なし
種類	—	円環形		
最高使用圧力	MPa	0.427* ¹		変更なし 0.853* ²
最高使用温度	℃	171		変更なし 200* ²
主要寸法	内径	mm	<input type="text"/> * ³	変更なし
	厚さ* ⁴	mm	<input type="text"/> * ⁵ (<input type="text"/> * ³)	
材料	—	SGV49		
個数	—	1		

注記*1: S I 単位に換算したものである。

*2: 重大事故等時における使用時の値

*3: 公称値を示す。

*4: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「板厚」と記載

*5: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-4-5 ベントヘッダ及びダウンカマの基本板厚計算書」による。